



エンドユーザーファーストで、 事業活動を展開する、 メニコンのビジネススタイル。

株式会社メニコン
代表執行役社長

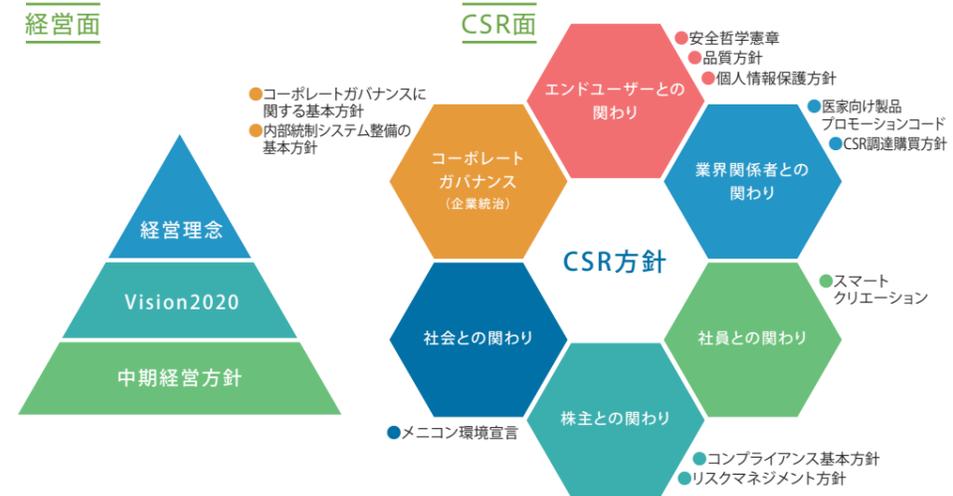
田中英成



メニコンは、日本で初めて角膜コンタクトレンズを開発して以来、「より良い視力の提供を通じて、広く社会に貢献する」を使命に、社会に役立つ製品とサービスを提供し続けてきました。特に、2016年12月に発売した『1DAYメニコン プレミオ』は、角膜に接するレンズの内側を指でふれることなく眼に装着できるSMART TOUCHというメニコン独自の発想が評価され、順調に販売実績を伸ばしています。当社の主力商品として成長軌道に乗ってきたこともあり、今後はプロモーション活動にも尽力していくつもりです。例えば、コンタクトレンズデビューを迎える若い世代に、SMART TOUCHの特性や定額制メルスプランのサービス性を訴求することで、眼に対する安全への意識を高めていただくことを意図しています。また、1DAYメニコン プレミオは、国内市場に留まらず欧州を皮切りに、北米、中国など海外市場への展開も視野に入れています。これにより安定した品質の商品を拡販できるよう、製造ラインの増設に伴う各務原工場の増築など、生産体制の拡充計画を進めていきます。「眼の安全」をグローバルスタンダード化するメニコンの世界戦略が始まっています。

2021年に創業70周年を迎えるメニコンでは、多くのプロジェクトが進行しています。その一つである「スマートクリエーションプロジェクト」は、経営理念である「創造」・「独創」・「挑戦」を実現する働き方として、本社オフィスを改装し、部署の垣根を越えたコミュニケーション空間をつくり、議論の中からアイデアを生み出すスマートでクリエイティブな働き方へのシフトに取り組んでいます。また、デジタル時代の新たなアイケアライフを提案する「メニコンネクスト アイケアプロジェクト」では、第2弾としてルテイン入りデカフェ（カフェインレス）ドリップコーヒーの開発・販売によって着実に市場を拡げています。他にも動物医療事業においては、犬猫の健康をサポートするサプリメント「関節やわらぎ酵母」を開発し、ペットの高齢化を踏まえて人と動物が身近に共存できる環境づくりに寄与しています。コンタクトレンズ事業で培った技術や研究を新しい分野での事業化に生かす「チャレンジスピリット」。そして、常に利用者の立場で事業を考える「エンドユーザーファースト」の目線で次代を描いていくことで、ますます広く社会に貢献する活動を実現していきます。

1. メニコングループは、人・社会・地球環境の調和を図り、社会に役立つ商品とサービスの提供を通じて、持続可能な社会の実現を目指します。
2. メニコングループは、国内外の法令をはじめとする社会ルールを遵守し、企業倫理を常に向上させ、持続成長可能な事業活動を行います。
3. メニコングループは、CSR意識向上を図り、従業員一人ひとりが常に高い認識を持って行動します。
4. メニコングループは、CSR活動に関する情報開示を行い、ステークホルダーと対話を深めながら、利益ある成長を図ります。



～安全哲学憲章～ Premium Safety その先の「安全」を目指して

私たちメニコンは高度管理医療機器を取り扱うメーカーである。だからこそ、私たちはお客様の眼の「安全」を最優先に考えたものづくりをしなければならない。

私たちメニコンの考える「安全」とは、「時代に先駆けて、より高い基準を自ら設定し、それを越えるべく挑戦し続けることによって初めて実現される安全」である。私たちはひたむきにこの「安全」にこだわり続けることにより、お客様と共に驚きと感動を分かち合えると信じる。

私たちメニコンは研究開発から生産、物流、営業活動を含むあらゆる企業活動において、「安全」を一貫して追求する体制を整え、進化させる努力を決して惜しまない。これが医療にたずさわる企業の社会的責任であると考えている。また、これが「目にたずさわる責任」である。

さらに、私たちメニコンの挑戦はこれに終わらない。私たち一人ひとりが「安全」を語る伝道師として夢と誇りを持ち、新しい「安全」を創造するために不可能と思われる領域に対しても積極果敢に挑戦し続けていく。

以上が私たちメニコンの「安全哲学」である。

CONTENTS

- 01 トップメッセージ
- 02 CSR方針
 - 安全哲学憲章
- 03 企業理念
- 04 事業概要
- 05 CSRインデックス
- 06 連結業績ハイライト
- 07 コーポレートガバナンス
- 11 特集 Menicon Standard
- 13 ①スマートクリエーション
- 14 ②動物の眼科医療、サブリエイション
- 15 エンドユーザー
- 16 社員
- 17 業界関係者
- 18 株主・投資家
- 19 社会
 - [環境・動物社会への貢献]
- 21 社会
 - [地域社会への文化活動]

● 企業スローガン

より良い視力の提供を通じて、広く社会に貢献する。

● 経営理念

Values 価値観

何もないところから、新たな価値を生み出すという、誰もやっていないことに、果敢に挑戦すること。

創造 Creation

独創 Originality

挑戦 Challenge

Mission 私たちはどんな企業でありたいか

メニコングループは、コンタクトレンズで培った技術と人で、社会に役立つ商品やサービスを世界に提供し続ける創造型スペシャリスト企業であること。

Vision 私たちが実現する夢 単なる夢で終わらせない夢

すべてのステークホルダーから尊敬され愛される企業の頂点、No.1になる。

ステークホルダーに対するMission

- エンドユーザー** パイオニアカンパニーとして、優れた技術で見える喜びと生きる喜びの提供により顧客満足を高め、すべての顧客から永く『エンドユーザー』として利用し続けたい企業と思われること。
- 業界関係者** リーダーカンパニーとして、業界発展への積極的な寄与により外部研究者、得意先や取引先などの協同者満足を高め、すべての業界関係者から永く『パートナー』として関わり続けたい企業と思われること。
- 社員** 人間尊重カンパニーとして、自己実現できる生きがいのある就労環境の整備により従業員満足を高め、すべての従業員から『ファミリー』として働き続けたい企業と思われること。
- 株主** 道徳尊重カンパニーとして、遵法精神を貫き、健全な業績により株主満足を高め、すべての株主から永く『サポーター』として応援し続けたい企業と思われること。
- 社会** 地球市民として、すべての生命や環境、すべての文化や歴史に敬意を払い、すべての市民の満足を高め、すべての尊い命から永遠に『良き隣人』と思われ続ける企業であること。

● 品質方針

優れた技術で見える喜びと生きる喜びの提供により顧客満足を高める。

● Vision2020

2020年の当社グループのあるべき姿

- 商品開発から顧客サービスまで一貫した優秀なシステム・体制を構築・維持することによって他の追随を許さない商品とサービスを世界中へ提供し、顧客からの絶対的な信頼・支持を得ていること。
- 業界関係者や同業他社との提携・協力についても柔軟な姿勢をもって臨み、健全なグローバル市場を確立し、秩序を維持することによって、エンドユーザーの健康を守っていること。
- コンタクトレンズで培った技術を活用し、創造的かつ独創的な技術で眼科医療分野以外の新規事業に進出し、生命や環境に対しても新しい商品やサービスを提供していること。

事業概要

会社名	株式会社メニコン
本社所在地	〒460-0006 愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号
創業	1951年2月
設立	1957年7月
代表者名	代表執行役社長 田中英成
資本金	33億79百万円(2018年3月31日時点)
従業員数	1,259名(2018年3月31日時点)
事業所数	営業所15、販売店48、研究所・工場6、カスタマーセンター1、物流センター4

事業紹介

コンタクトレンズ事業

安全性へのこだわりと、快適さや便利さを備えたコンタクトレンズの創造と進化を追求するメイン事業です。そのためにお客様の声に耳を傾け、お客様の目線で発想し、製品とサービスの領域を広げ、新たなニーズにお応えすることが私たちの使命と認識しています。「視力の提供を通じ、信頼できるパートナーとしてお客様の人生と関わっていく」想いから、お客様の瞳の未来を見つめ、生涯にわたって一人ひとりにふさわしい「見える喜び」をお届けしています。



動物医療事業

家族の一員であるペットの瞳は、飼い主とのコミュニケーションに欠かせない感覚器官です。同事業では、人間の眼科分野におけるコンタクトレンズ・眼内レンズ開発で培った技術をベースに、動物の眼科医療に応用した犬用眼内レンズ「メニわんレンズ」や、犬猫用の「メニわん治療用コンタクトレンズ」を開発・発売し、獣医師とともに日本の動物眼科医療の発展に貢献しています。



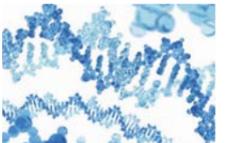
環境バイオ事業

コンタクトレンズケア用品の開発で培った技術を環境バイオ事業分野に活用しています。酵素技術を活かした稲わら分解促進材「アグリ革命」の開発をはじめ、家畜排泄物を迅速にたい肥化する「resQ45」、食品残渣などの未利用資源の活用など、メニコン独自の学術的な研究開発アプローチで、環境バイオ事業の可能性を大きく広げています。



ライフサイエンス事業

60年以上にわたるコンタクトレンズ事業で培った開発力や技術力、そして最も目を向けなくてはならない「安全性へのこだわり」を、ライフサイエンス領域である生殖補助医療、基礎研究、先端医療など、眼科領域以外の分野への展開によって新しい製品・サービスを提供しています。

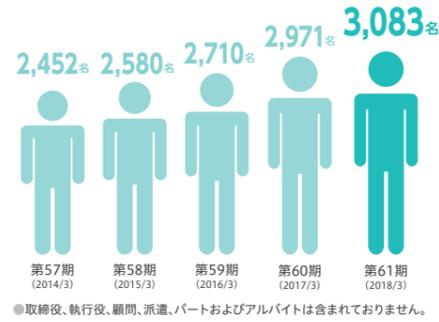


グループ会社紹介

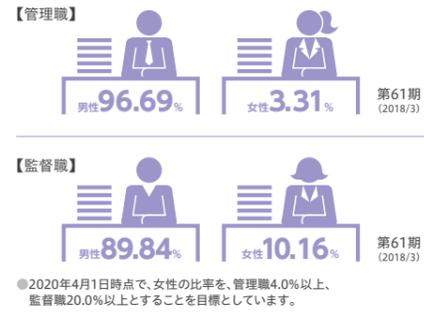
【日本】	株式会社メニコネット	株式会社メニコンビジネスアシスト	株式会社メニワン	株式会社ダブリュ・アイ・システム	富士コンタクト株式会社	株式会社アルファコーポレーション	株式会社エーアイビー
【アジア・オセアニア】	Menicon Singapore Pte. Ltd.	Menicon Singapore Sales Pte. Ltd.	温州欣视界科技有限公司	First Glory Holdings Ltd.	Menicon Korea Co., Ltd.	Menicon Australia Pty Ltd	
【欧州】	Menicon Holdings B.V.	NKL Contactlenzen B.V.	Menicon SAS	Menicon Pharma SAS	Menicon GmbH	Menicon Limited.	Menicon España S.L.
【北米】	Menicon America, Inc.	The Lagado Corporation					

従業員に関するデータ

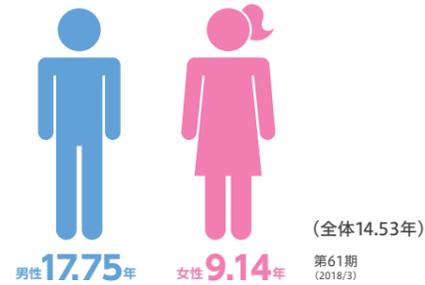
●従業員数(連結)



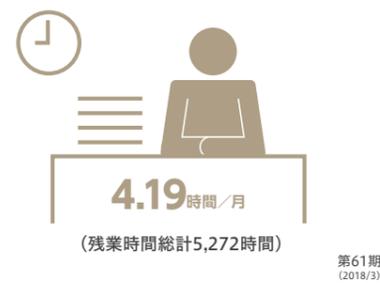
●管理・監督者構成比(単体)



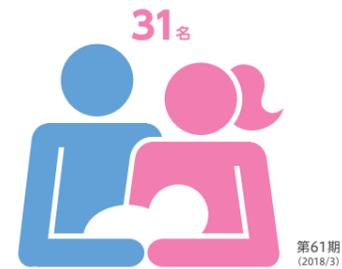
●平均勤務年数(単体)



●平均残業時間(単体)

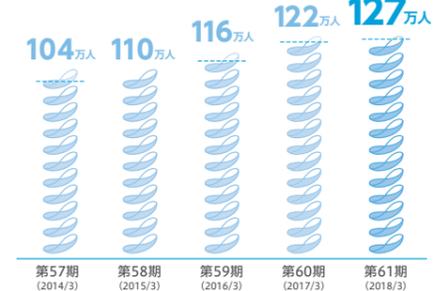


●育児休業取得者数(単体)



エンドユーザーに関するデータ

●メルスプラン会員数

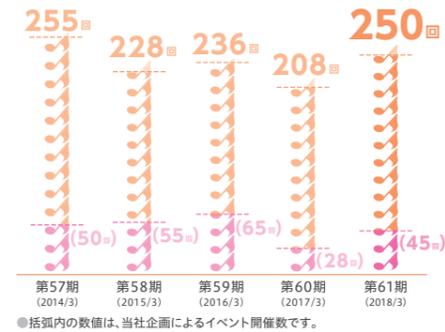


社会に関するデータ

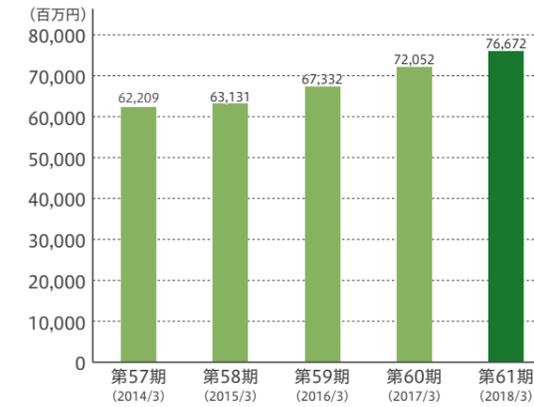
●環境関連ビジネス売上高(単体)



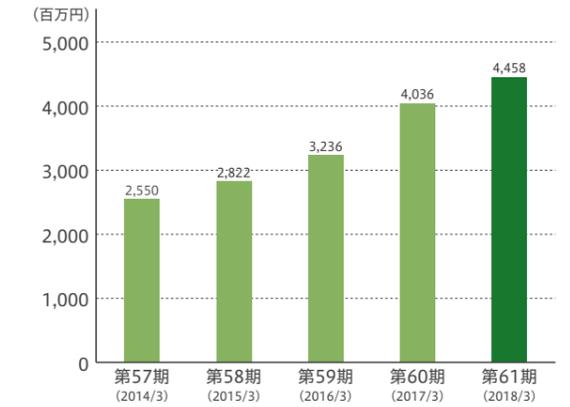
●HITOMIホールでのイベント開催数



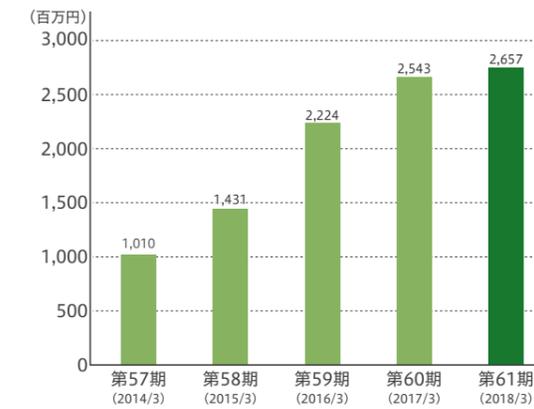
売上高



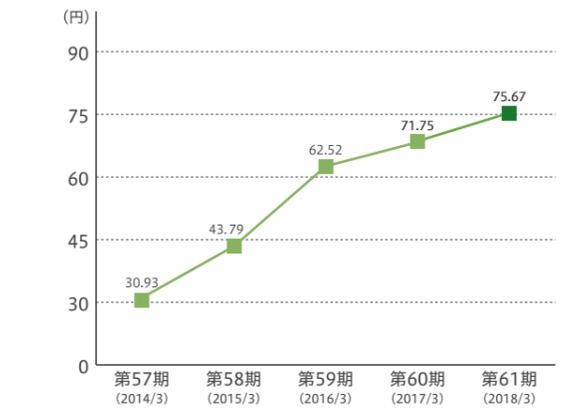
経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益

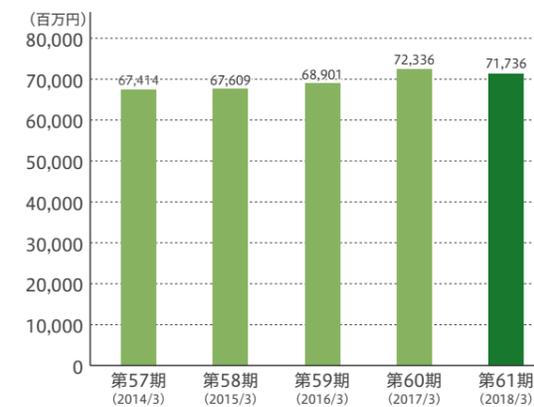


1株あたりの当期純利益

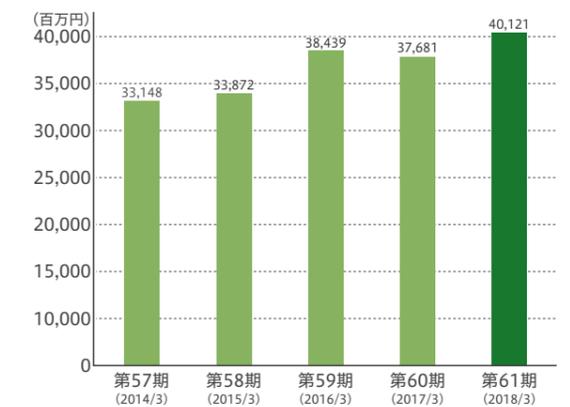


●当社は平成30年1月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。第57期の期首に株式分割が行われたと仮定し、1株あたり当期純利益を算定しております。

総資産額



純資産額



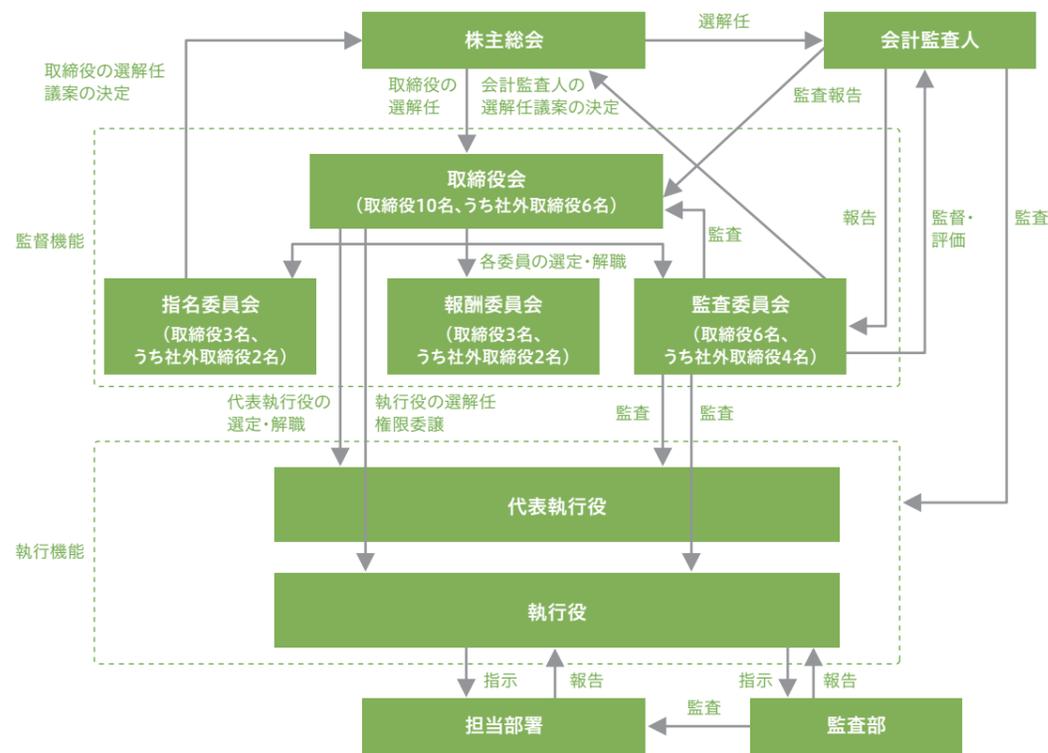
当社は株主、投資家、顧客、従業員など全てのステークホルダーから尊敬され愛される企業を目指し、企業活動を行うことを基本方針のひとつとしております。そして、その実現のためにステークホルダーからの信頼を得ることと、健全な企業経営を重要課題と位置づけ、コーポレートガバナンスの実現に取り組んでまいります。

● コーポレートガバナンス体制の概要

当社は会社法に規定する指名委員会等設置会社であり、取締役10名(うち社外取締役6名)および執行役員11名(兼務取締役1名を含む)により構成されております。社外取締役は客観的・大局的に、企業価値の向上という観点から執行役が行う経営の監督ならびに助言を行っております。業務執行および経営監視の仕組みとしては、株主総会において選任された取締役で構成する取締役会が会社の重要な意思決定と執行役の監督を行い、経営を監視し、取締役会により選任された執行役が担当業務ごとに強化された権限により、迅速で効率的な業務執行を実現しております。

各委員会(指名委員会、報酬委員会、監査委員会)の委員は、過半数が社外取締役ににより構成されております。各委員会の役割として、「指名委員会」は次回の定時株主総会に提出する取締役候補の決定、「監査委員会」は取締役および執行役の職務執行の適法性・妥当性監査と会計監査人選任案の決定、「報酬委員会」は取締役および執行役の報酬制度・報酬額等の決定を担っております。また、業務執行上の重要案件(取締役会決議事項を除く)については、執行役全員で構成する「業績検討会議」および「執行役員会」等において審議、決定することとしております。

コーポレートガバナンス体制図



※ 2018年6月26日現在の役員数

● コーポレートガバナンス体制を採用する理由

当社の機関設計は迅速な経営意思決定の実現および監督管理機能強化の観点から指名委員会等設置会社としており、各種委員会には過半数の社外取締役に据えております。また、監査委員会は会計監査人と連携して執行役の業務執行を監査しております。

このような考え方にに基づき、当社では最良のコーポレートガバナンスを実現するために、「コーポレートガバナンスに関する基本方針」を制定し、公表するとともに、コーポレートガバナンスの実効性を高めてまいります。

▶▶「コーポレートガバナンスに関する基本方針」の詳細については <http://www.menicon.co.jp/company/ir/pdf/governance.pdf> をご覧ください。

● リスク管理体制

当社は、リスク管理責任者を社長とし、リスク管理の全社的推進とリスク管理に必要な情報の共有化等を図るため、CSR委員会を設置しています。リスクについては、各部門のリスク評価を行い、リスクの回避・低減・移転・受容その他必要な措置を事前に講じています。

事故等発生時の対応および事故等の処理後の報告、人命に関わる緊急事態発生時の報告経路、苦情への対応、医薬品医療機器等法その他の関連法規に即した対応等を定めています。また、災害などにより重要業務が中断しないよう事業継続計画(BCP (Business Continuity Plan))を整備しています。

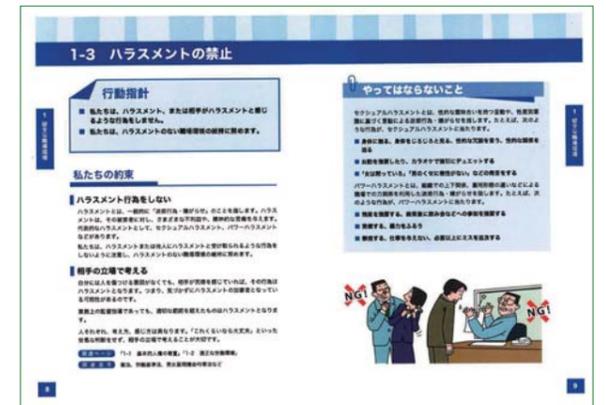
この他に、各分野におけるリスク管理のため、「品質保証安全管理委員会」、「PLD委員会」、「個人情報保護委員会」、「メニコン公正取引管理委員会」、「倫理・コンプライアンス委員会」を設置しています。

● コンプライアンス体制

当社は、以下をコンプライアンスの基本方針としています。

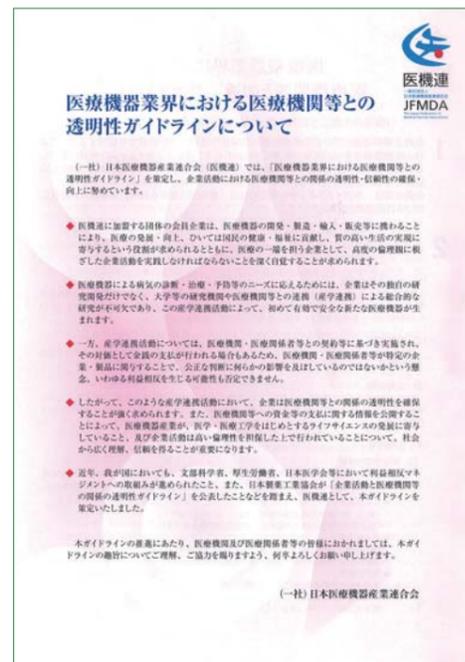
- ①コンプライアンス(法令・定款等遵守)の実践を、経営の重要課題の一つとして位置付ける。
- ②当社の役員および社員へのコンプライアンスの徹底は、当社の経営の基盤であることを強く認識し、健全かつ公正で透明性の高い企業活動を行う。
- ③経営の健全性、遵法性を高めるため、コーポレートガバナンス(企業統治)機能を維持し、法令・定款等に合致した行動をとる。
- ④法令・定款をはじめとする社会的ルールを遵守し、企業倫理意識を常に向上させていく。
- ⑤常にコンプライアンスを意識した、最良の商品およびサービスを提供し、顧客満足度のさらなる向上を図る。
- ⑥万一、法令・定款等の違反行為が生じた場合には、原因究明を徹底して行い、再発防止に努める。

また、国内のグループ会社向けに独自制作の電子版「コンプライアンスガイド」をイントラネット上に掲示し、海外子会社に対してはコンプライアンス規程の整備を通して、グループとしてもコンプライアンスの維持向上に努めています。特に、コンプライアンスの維持向上を目的としたコンプライアンス教育においては部門単位の教育や管理職向け、全従業員を対象にしたeラーニングを活用した学習を計画的に行っています。



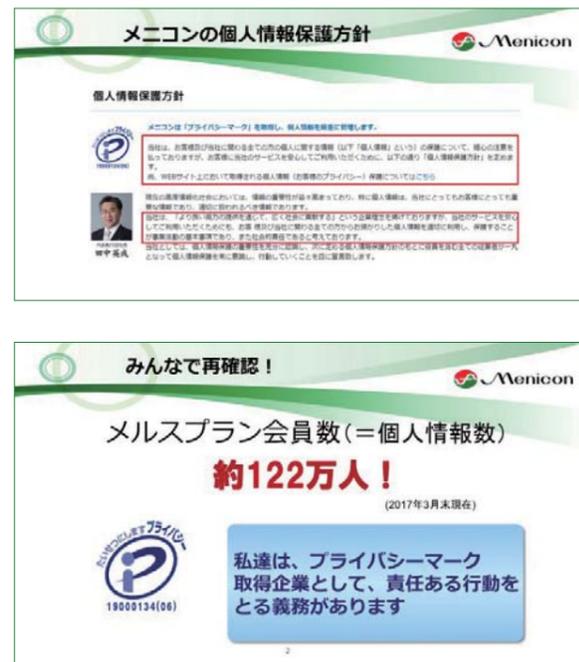
● 透明性ガイドライン

当社は「より良い視力の提供を通じて、広く社会に貢献する」を企業スローガンに掲げ、瞳の健康を最優先に考えた製品開発に挑戦し、高度な安全品質を実現してきました。当社は高い倫理性が求められる医療機器関連産業の一員として、医学・医療工学をはじめとする生命科学の研究、実用化、およびコンタクトレンズの適正使用の普及に不可欠な医療機関等との関係の透明性を高め、社会からさらに高い信頼を得られる企業になることを目指し、(一社)日本医療機器産業連合会の定める「透明性ガイドライン」に基づき、医療機関等への資金提供に関する情報を公開しています。



● 個人情報の保護体制

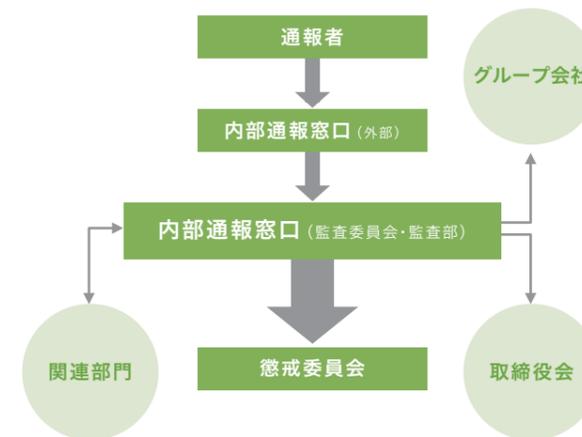
当社では、お客様および当社に関わる全ての方からお預かりした個人情報を適切に利用し、保護することが事業活動の基本事項であり社会的責任であると考えています。そのため個人情報の保護について細心の注意を払うとともに、当社のサービスを安心してご利用いただくための「個人情報保護方針」を定めるとともに、「プライバシーマーク」を取得し、個人情報を厳重に管理するとともに、さらなるシステムセキュリティの強化に努めてまいります。また、役員および従業員に対し、個人情報の保護および管理についての教育を実施し、日常業務における個人情報の適正な取り扱いを徹底しています。



2017年社内個人情報保護教育テキストより

● 内部通報制度

当社は、グループにおける法令、定款、社内規程および企業倫理を誠実に遵守する公正な経営を実現するために、違反行為を独立した第三者機関を介して通報する制度を導入しています。この制度はメニコン社員だけでなく、グループ各社の社員、派遣社員も利用できます。通報に対しては事実確認のうえ、適切な対応をしています。
 ※調査は監査委員会(主として役員に対して)および監査部が中心となり、グループ会社および関連部門はこれに協力する義務を負う。
 ※違反行為を行っている者が役員(グループ会社含む)の場合は会社およびグループ会社の取締役会にて適切な対応を行う。



● 品質マネジメントシステム

当社では「安全哲学憲章」を掲げ、「より良い視力の提供を通じて、広く社会に貢献する」という企業スローガンのもと、品質の確保および顧客満足を目指して、本社はもとより、Menicon SAS、Menicon Pharma SAS、Menicon Limited.、Menicon Singapore Pte.Ltd.、株式会社メニコネク、NKL Contactlenzen B.V.において、医療機器の品質マネジメントの国際規格である ENISO13485を取得しています。
 ENISO13485とは、ISO9001をベースに医療機器固有の

要求事項を追加した、医療機器の安全性と品質を継続的に確保するための品質マネジメントシステム規格のことです。さらに Menicon SAS、Menicon Pharma SAS、Menicon Limited.、NKL Contactlenzen B.V.では、ヨーロッパの品質保証規格に適合した商品であることを示す CEマークも取得し、国内外に向けて確かな品質をお届けしています。
 この品質マネジメントシステムが引き続き適切で、妥当で、かつ有効であることを確実にするために、品質マネジメントシステムの経営層によるレビューを年2回開催しています。このレビューでは、お客様からのフィードバックやリスクマネジメントを踏まえた製品の継続的評価、品質方針および品質目標を含む品質マネジメントシステムの変更の必要性の評価を行っています。
 また、製造販売後安全管理に関する業務に従事する者に対する社内教育訓練を定期的に行い、お客様を含む市場からのフィードバック情報を適切に収集、評価し、製品の安全確保に継続的に努めています。



● 調達購買活動

当社は、環境に配慮したエネルギーや資源の効率的使用を実践し、使いやすさ・わかりやすさに配慮した安全な商品・サービスを提供していきたいと考えています。取引先の皆様に対して公平な機会を設け、公正な評価を行い、当社が求める条件に見合う優れた部材等を調達しています。調達購買活動を通じて社会に貢献し、法令を遵守すると共に、地球環境に配慮した取引を行っています。



特集

Menicon Standard

いつも新たな道筋を発想し、開拓していく私たちの姿勢と想いです。

私たちの生活は、ごくごく当たり前の普通の事柄によって成り立っています。
 昇る太陽の日射しを浴びながら1日がスタートし、職場や学校であいさつを交わし、
 人々とのコミュニケーションを通して、社会との結びつきを深め、広げています。
 メニコンという企業も、お客様の普段の生活において不便や不都合を取り除いて、
 より良い視力を提供できることを、当たり前の業務として尽力しています。
 一人ひとりの“視生活”に目を配っていく、その姿勢と想いこそがメニコンスタンダード。
 数字やデータで計ることのできない、私たちの基準値です。



メニコン環境宣言

昨今、企業が持続可能な発展に貢献することが社会的責任として位置づけられています。メニコンは、創業以来『より良い視力の提供を通じて広く社会に貢献する』を信条に、お客様に満足いただける商品開発やサービス提供を行ってまいりました。

私たちメニコンの活動は『ずっと輝く瞳に』を願い、地球の未来を見据えて、『人にも動物にも環境にも優しい地球企業でありたい』と思っています。そして、私たちが開発した技術や英知が地球のすべてに恩返しできることを夢見て、グループ全社で挑戦していきます。



メニコンマークへの想い

メニコンマークには、上部に赤と下部に緑の配色があります。これは、不可能を可能にする情熱の『パッションレッド』と、安全にこだわり続ける技術の『テクノグリーン』をシンボル化しています。また、メニコンの英字表記は『Menicon』であり、その中には『eco』の文字が含まれています。

メニコンは、角膜が必要とする酸素を十分透過できる安全なコンタクトレンズの素材開発を行ってきており、森林では、木々が大気中のCO₂を取り込んで太陽から注がれる光と葉緑素の光合成によって酸素ができます。双方には酸素を共通のキーワードにした赤と緑の融合があります。



環境宣言に基づくメニコンの取り組み

- 1 経営努力により環境への負荷を減らします
- 2 環境バイオ事業は環境に優しいを推進します
- 3 大切な水と酸素のために森づくりを推進します
- 4 クールビズ・ウォームビズのユニフォーム着用により省エネを推進します
- 5 より健康的でクリーンな環境・社会創出を推進します

特集 よりスマートでクリエイティブな働き方を。

1 メニコン働き方改革「スマートクリエーション」[※]スタート!

※当社の経営理念を実践するため、スマートでクリエイティブな働き方や業務ヘンフトする取組の呼称。

● 創造的な働き方を実践する「スマートクリエーション」始動

メニコンは経営理念の「創造」「独創」「挑戦」を実践する働き方改革「スマートクリエーション」を始動しました。その第一弾として2017年9月に本社・本館(名古屋市中区)を改装し、フリーアドレス制を導入しました。これは他部署のスタッフとのコミュニケーションを活発にし、より創造的なアイデアや新

たな価値観が生み出されることを考えた様々な施策の一環です。今後は、各事業所にも働き方改革「スマートクリエーション」プロジェクトを促進し、社員が考えるこれまで以上に働きやすい職場作りを目指していきます。

【本社オフィスの改装】

● コミュニケーションスペース

固定席を設置せずに、毎日異なるフロアやデスクで業務をすることを促進しておりコミュニケーションの活性化に取り組んでいます。デスクには原則コンセントが無いため、電源が必要な時は立って業務を行う「スタンディングスペース」へ移動します。長時間のパソコン作業を無くすよう工夫しています。



● スタンディングスペース

打ち合わせを立って行うことで気軽にアイデアを出しあったり、時間短縮にも取り組んでいます。社員の健康を考慮して長時間座り続けることを避けると共に、効率的に業務を行うことも実践しています。



打ち合わせ

パソコン作業

その他、集中して業務を行うためのスペースや気分転換のためのリフレッシュスペースがあります。メリハリのある働き方を促進し業務の生産性向上につなげていきます。

● スマートクリエーションは、研究所にも

スマートクリエーションは研究員が働くメニコン総合研究所(愛知県春日井市)でも来年度を目途に進めていく予定です。他の研究員との交流を活発にしてクリエイティブでインノベーティブな研究成果が得られるようにフリーアドレスも視野にICT化を推進し、業務効率を上げていきたいと考えています。コンタクトレンズのパイオニア企業としてさらに皆様に愛される製品作りに反映させていきます。



特集 人間と動物がより身近に共存できる環境を。

2 動物の眼科医療やサプリ開発でペットの健康をサポート!

● 動物医療事業への参入とメニワンの誕生

メニコンは、1997年に人間の眼科分野で培った技術をベースに動物眼科医療の分野へ参入し、同年犬用眼内レンズを、そして2002年には犬猫用治療用コンタクトレンズを発売しました。さらに2003年には経営のスピード化、製品開発のスピード化

を図り、ますます高度化する動物医療に対し、万全の体制で対応できるよう、動物眼科医療を専門とする「株式会社メニワン」を設立しました。

● サプリメント事業の拡大

当初は、眼内レンズや眼科器械の販売を主としていましたが、2004年のメニわんEyeの発売を皮切りに、メニにゃんEye、メニわんEyecareなど、眼科向け犬猫用サプリメントのラインアップを増やし、現在ではメニわんEye(II)シリーズ5種、メニにゃんEyeシリーズ4種を発売するなど、順調に売上を伸ばしています。

さらに2016年にはメニコングループ会社の株式会社ダブリュ・アイ・システムよりベジタブルサポート事業を統合し、眼科以外

の分野にも進出を開始しました。その後、口腔ケアのPero-Oneや関節用のサプリなども発売し、動物の健康のサポートにますます力を入れています。

今やサプリメントの売上は、メニワン全体の35%ほどを占めるようになり、今後も新商品が続々と予定されていることから、ますますその構成比は上がるものと予想されます。



● 海外への進出

これまで、眼内レンズ、シリコンボール、眼科検査機器といった商品を海外から輸入販売していましたが、2011年より本格的に中国に進出し、現地代理店と共に上海に研修センターを立ち上げ、セミナー、実習会を通じて中国獣医師のレベル向上に寄与しています。

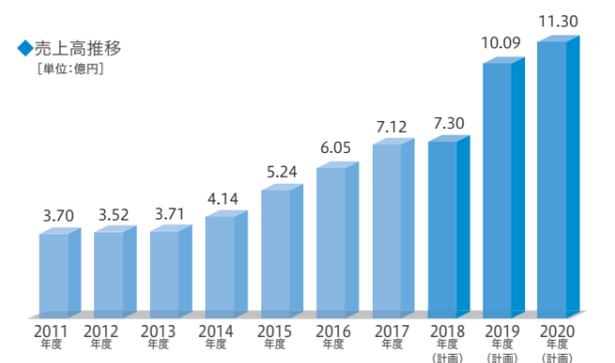
中国においては、サプリメントの現地生産にも着手し、ますますその存在感を増しています。その他東南アジア各国でも代理店を増やし、サプリメントを中心に売上を増加させていきます。



● 好調な売上推移

メニワンは会社設立後、順調にその売上を伸ばし、2015年度には5億円を、2016年度には6億円を、そして2017年度は7億円を達成しました。今後も国内外でその存在感を増しつつ、獣医師ひいてはペット業界に必要な企業として発展し続け、2020年度には売上11億円を達成する見込みです。

◆ 売上高推移
[単位:億円]



メニコングループでは、グループ一丸となって顧客ニーズに合った質の高いサービスに取り組んでいます。エンドユーザーファーストの目線で、安全で快適なコンタクトレンズライフを提案、提供し続けます。

共通ブランド「Miru partner」を展開

メニコンは、メニコングループのコンタクトレンズ販売会社（株式会社ダブリュ・アイ・システム、富士コンタクト株式会社、株式会社エーアイピー）の販売チェーン店（エースコンタクト、富士コンタクト、シティコンタクト）の共通ブランド「Miru partner」を展開します。



現在、各販売チェーン店では地域の皆様に親しまれている独自のロゴとスローガンを掲げており、これらは継続使用します。一方で、メニコングループ販売チェーン店共通ブランド「Miru partner」は「見る」にこだわるをスローガンに、メニコン直営店ブランドである「Menicon Miru」とともに一貫したサービスをお届けするパートナーとして新たな共通ブランドを掲げ、全国で浸透を図っています。

各販売チェーン店のストアコンセプトをベースに、「Miru partner」として知識や経験を共有化すること、メニコン商品に限らず豊富な商品ラインアップの中からお客様のニーズにあったコンタクトレンズを提供することで、お客様の「見る」世界がより豊かで、毎日の「見る」が快適になるようご提案していきます。

メニコン直営店（48店舗）とグループ販売チェーン店であるエースコンタクト（78店舗）、富士コンタクト（13店舗）、シティコンタクト（18店舗）の販売網が一体となり、「Miru partner」ブランドを強固なものとして既存のお客様や新規のお客様にも気軽にご来店いただけるお店を展開していきます。

（店舗数は2018年3月末時点）



安心のご相談窓口、お客様センター

メニコンでは、お客様に正しく安全にコンタクトレンズをご使用いただくために、レンズやケア用品に関するお問い合わせをはじめ、さまざまな疑問や不安、お問い合わせのご相談窓口として「お客様センター」(0120-103-109)を設置しています。電話でのお問い合わせは月平均約1,700件、メールでは月平均約550件に対応しています。的確かつ迅速にお客様のニーズに応えられるよう、幅広い知識が要求されるスタッフの教育に力を注ぐとともに、最先端のオペレーティングシステムを導入して、サービス品質の向上に努めています。このほか、メルスプラン約127万人（2018年3月末時点）の会員様や加盟施設との窓口である「メルスセンター（会員専用ダイヤル）」を設置し、いつでも安心してご利用いただける体制を整えています。



コンタクトレンズ用ケア用品 一部対象製品における自主回収のお詫びとお知らせ

弊社の子会社である株式会社メニコンネットが製造しておりますコンタクトレンズ用ケア用品の一部製品の製造工程に不適合が認められたため、該当製造番号の対象製品を自主的に回収致しました。なお、製品の出荷時における承認規格試験（無菌試験を含む）には適合しており、健康被害が発生する可能性は極めて低いものと考え、現在までのところ健康被害の報告は受けておりません。お客様ならびに関係者の皆様には多大なご迷惑をお掛けし、深くお詫び申し上げます。今後はより一層の品質管理・強化に努めてまいります。（回収開始年月日：平成29年12月29日）

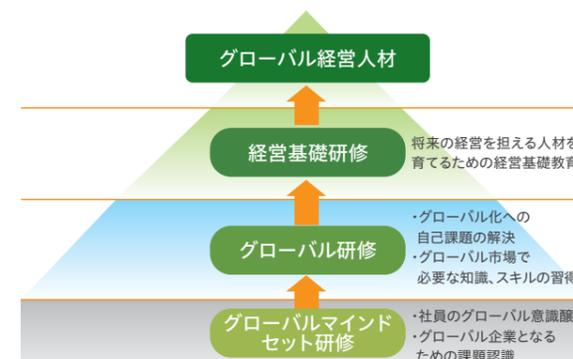
部署は異なっても、「見える喜び」に向けて尽力する思いは共通です。コミュニケーションを通わせ、発想力と行動力を発揮できる職場づくりと、企業の未来を描ける人材育成に努めています。

グローバルを意識した人材育成

新しい商品・サービスを全世界に広げ、すべてのステークホルダーから信頼され愛される企業を目指して、当社は「グローバル経営人材育成」に向けた体系的な研修を導入しています。

グローバル経営人材育成

ボーダーレス感覚を備え、経営を担うことのできる若年層人材を育成する。



グローバル意識の醸成や課題を認識する「グローバルマインドセット研修」を起点に、ボーダレスな活躍を志向する社員を対象に具体的なスキルや問題解決力を養う「グローバル研修」、将来の経営幹部を育てる「経営基礎研修」の3段階で育成を図ります。併せて、階層別の「新入社員研修」「企画職2年目研修」「昇格者研修」「新任管理者研修」「新任店長・所長・課長研修」で、個々の成長や自己啓発を支援する機会を設けています。

アドバイザー資格制度でプロの自覚を

メニコンは2002年より独自のコンタクトレンズアドバイザー資格制度「PAL※」を導入しています。①商品の品質を顧客に正しく確実に伝える力 ②商品の高付加価値化に対応できる力 ③習得した知識と技術を活用できる力、の3つを備えた「創造型スペシャリスト」の育成に取り組んでいます。基礎的な内容の「エレメント」をベースに、「スーパー」「ハイパー」の3階層からなる試験は約600名（単年度）の受験者を数え、社員間での自主的な対策勉強会も活発です。専門知識を網羅したテキストは、業務に直結したバイブル的存在としても活用されています。

さらに、「スーパー」および「ハイパー」保持者は、コンタクトレンズのプロフェッショナルとしての自覚を持ち続けられるよう、名刺に保持資格を表示するなど、社員一人ひとりが成長する企業風土をつくりあげています。

※Menicon Products Adviser License Systemの略称



心身の健康に向けて充実サポート

メニコンは、高度管理医療機器であるコンタクトレンズを取り扱う企業として、社員が健康に良いコンディションで仕事に打ち込めるよう、さまざまな支援体制を整えています。医療関係者やエンドユーザーであるお客様と接する機会が多いことから、インフルエンザ予防接種や、禁煙外来治療費を援助しています。

また、2016年から本社事業所でマッサージ師（国家資格）による施術が受けられるようになりました。さらにメンタルヘルスケアとして、労働安全衛生法に則ったストレスチェックはもちろんのこと、社員の家族も利用できるホットライン「こころの電話相談」を導入し、サポートの充実を図っています。このように社員が、心身ともに健康で毎日を送れるよう応援しています。



高度管理医療機器を取り扱うメーカーの使命として、コンタクトレンズを提供する側の安全意識の啓発など、業界全体の信頼性と発展に寄与できる活動を推進しています。

● サプライヤーとの信頼関係づくり

メニコンが常に製品の品質向上を図り、安定的な供給を続けるためには、原材料メーカーや設備メーカー、さらには広告、ITなどの幅広い業種のサプライヤーの存在を抜きにしては語れません。サプライヤーとの信頼関係をより強固にし、当社の購買方針や取り組みをご理解いただくために、2013年度より開催しているのが主要サプライヤーに参加いただく「MenioClub(メニオクラブ)」です。今年も約100社の取引先企業の皆様を「HITOMIホール」にご招待し、代表執行役社長の田中より感謝の意を伝えるとともに、ミニコンサートを開催しました。その後、懇親会を通じ、当社の執行役をはじめサプライヤー同士で活発に情報交換を行いました。刻々と変わる消費者ニーズや業界動向、各社の取り組みなどを共有できる場として参加企業の皆様にも好評をいただいています。当社を軸に共存共栄の絆を広げ、業界全体の活性化につなげる機会へと発展させています。



● 眼の安全と健康を支える人材づくり

メニコンでは安全哲学に基づいた人材育成を全国の販売店にも広げべく、仙台、東京、名古屋、大阪、福岡の5か所の研修センターにて社外研修を実施しています。研修はコンタクトレンズについての知識・技術および接客マナーの2本柱で構成され、定期開講のほか、要望に応じて出張講義も行います。また、全国初の試みとして、一般の学生や既卒者を対象とした「メニコン コンタクトレンズ スクール」を2013年より名古屋でスタート。これは就職支援型の夜間スクールであり、眼

の安全を最優先に考えた行動のできる人材の育成を目的としています。2015年からは福岡でも開校し、少人数制の指導のもと修了時には「コンタクトレンズアドバイザー」認定証を授与、2018年度の就職決定率は100%でした。修了生は販売店でコンタクトレンズの正しい使い方をユーザーに伝えるアドバイザーとして活躍しており、スクールを通じた眼の安全に対する取り組みが高く評価されています。



● 安全使用の啓発と業界の発展に尽力

メニコンが加盟する一般社団法人日本コンタクトレンズ協会は、1958年(昭和33年)に発足し、2018年に創立60周年を迎えました。当協会は、コンタクトレンズおよびケア用品の製造販売業者、販売業者等の約70社から構成され、コンタクトレンズの正しい普及と業界の発展を目指して活動する日本を代表する医療機器団体の一つです。このたび、同協会はユーザーの皆様へコンタクトレンズを安全、快適に使っていただけるよう正しい普及を願う日として、「9月10日」を「コンタクトレンズの日」として定め、全国的な告知活動を展開しています。当社も、お客様へのポスターの掲示などを通じ、「コンタクトレンズの日」の周知活動に尽力し、定着するよう努めています。

当社は、コンタクトレンズのパイオニア企業として、同協会のような活動に協力するとともに、(一社)日本医療機器産業連合会等の関連団体にも加盟し、幅広い活動を通じ、業界の発展に貢献しています。



株主・投資家の皆様の期待と信頼に応えられる健全な企業経営と情報開示を行い、さまざまなビジネス展開のご理解を求めながら、共存共栄の関係を継続していきたいと思っております。

● 株主優待制度を導入

株主の皆様へメニコンの事業を理解していただき、より多くの皆様に応援していただきたいと考え、株主優待を導入しました。メニコングループの販売店でご利用いただける優待券をはじめ、サプリメント「ラフェリアイ」やルテイン入りコーヒー「LUTEIN&MEドリップコーヒー」など、当社事業に関連した商品からお選びいただけます。(3,000円相当)

選択肢の中には当社の新規事業と関連した、トキ募金や動物愛護への寄付も用意しています。今後も株主優待も含めた情報発信を行うことで、継続して株主の皆様とのコミュニケーションを密に図っていきたく考えています。

～優待制度例～

メニコン優待券 3,000円分



メニコン直営店「Menicon Miru」「Miru+」各店にてご使用いただける3,000円分の優待券です。

「ラフェリアイ」1本(90粒入り)



ラクトフェリンの働きに注目しました。さらにアイケアに良いと言われる成分、カシスポリフェノール、ツルレンゲエキスを配合しました。

「LUTEIN&ME ドリップコーヒー」30P



メニコンでは長年のアイケアの研究から、活性酸素を除去する働きを持つルテインに着目しました。網膜に多く含まれるルテインは加齢と共に減少しますので、外部から補うことが重要と考えられています。リラックス効果のあるコーヒーと一緒に、気軽に摂取いただけます。

新潟県・佐渡市「トキ保護募金」3,000円分

「アグリ革命」がトキにとって過ごしやすい環境づくりに貢献できることから、トキの保護に役立てていただくため、アグリ革命の売上の一部と合わせて「トキ保護募金」に寄付させていただきます。

「動物愛護委員会」3,000円分

メニコンが法人会員であるエンジン01文化戦略会議における、動物愛護委員会の活動を支援いたします。イヌ・ネコの動物愛護団体・自治体などへの援助活動やコラボレーションなどの活動に役立てていただきます。

● 個人投資家向け説明会の開催

メニコンは投資家・株主の皆様との対話を通じて、事業に関する理解を深めていただくため、投資家説明会を開催しています。東京、名古屋、大阪、札幌、福岡にて、代表執行役社長の田中による個人投資家の皆様向けの説明会を開催しました。説明会ではコンタクトレンズ業界の現状と将来性について、メニコンのビジョン、成長戦略を説明させていただきました。今後も継続して説明会を開催し、積極的に対話の機会をつくってまいります。株主の皆様へ末永く「サポーター」として応援いただくために、公正かつ適時、適切な情報開示を目指していきます。



コンタクトレンズ事業で培った経験と技術を、新しい分野で芽吹き開花させるチャレンジ。
生命と環境を見つめ、未来と創造に富んだ企業価値の向上を目指していきます。

2018 愛知環境賞「名古屋市長賞」受賞 植物熱耐性向上の資材研究

メニコンは、スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社と取り組んでいるコーヒー豆かすを牛の飼料として再生利用する取り組みが評価され、愛知県が主催する「2018愛知環境賞「名古屋市長賞」」※1を受賞しました。

メニコンの発酵技術により、コーヒー豆かすを家畜飼料および肥料として再生し、食品廃棄物の有効利用を図るとともに関係事業者との連携によって食品リサイクルループ ※2を構築したことが環境負荷の低減と資源循環型の形成に大きく貢献することが評価されました。コーヒー豆かすを牛の飼料として再生する取り組みは、スターバックスの一部の店舗を対象に、分別・脱水・防腐処理をしたコーヒー豆かすを回収します。その後、再生利用事業者を通じ、牛に与える乳酸発酵飼料として再資源化し、さらにこの飼料を用いて育てられた乳牛のミルクを一部店舗でドリンクの原料に循環利用する「食品リサイクルループ」を構築しています。現在、コーヒー豆かす飼料を給餌している乳牛数は、およそ12,000頭となり、日本の全乳牛数の1%弱に拡大しています。メニコンは、今後この乳酸発酵技術を広く利用可能なものとし、環境にも優しい地球企業として社会に貢献していきます。

※1 資源循環や環境負荷の低減に関する先駆的で効果的な「技術・事業」> <活動・教育>の事例を募集し、優れた事例に対する表彰を行うとともに、広く紹介することによって、新しい生産スタイルや生活スタイルを社会に根付かせ、資源循環型社会の形成を促進するものに与えられる賞。
※2 食品廃棄物等の排出者（食品関連事業者）、特定肥飼料等の製造業者（再生利用事業者）およびその利用者（農林漁業者等）が、共同して再生利用についての計画を作成し、認定を受ける制度。



2017年5月に静岡大学、三重大学、新潟大学、メニコンが共同で設立した「植物熱耐性向上資材研究開発コンソーシアム」に関し、静岡大学において10月に設立式を挙行し、同大学内に推進室（専用のラボ）を開室しました。

本コンソーシアムは、2014年より開始した静岡大学グリーン科学技術研究所、メニコンとの共同研究から派生した組織であり、「植物熱耐性向上資材」の製品開発を目指すものです。すでに関連技術は、共同特許出願を実施し、また将来の商品化はメニコンが担い、2019年の商品化を目指します。

【研究概要】

地球温暖化の進行により、毎年のように平均気温が上昇しており、特に夏の酷暑は農作物へ多大な悪影響（高温障害）を及ぼします。酷暑による水稻の白未熟粒の発生は、農家の収益に影響を及ぼすことが知られています。静岡大学グリーン科学技術研究所原教授は、10年程前より植物に対する熱ショック応答（熱ショックタンパク質：heat shock proteinの発現）について研究されています。その研究の過程で、様々な物質により、植物は熱耐性を獲得できることを発見しました。その後、株式会社メニコンと共同研究を推進し、有望な物質Xを発見することができました。この物質Xを用いた農業資材の商品化を目指し、三重大学平塚教授、新潟大学三ツ井教授も加わって、共同で商品化に向けた様々な取り組み（本コンソーシアムの設立）を行いました。

【分担】

静岡大学：グリーン科学技術研究所 実験植物を用いた熱ショック応答のメカニズム解明
三重大学 生物資源学部：果樹を用いた有効性確認、メカニズム解明
新潟大学 農学部：水稻を用いた有効性確認、メカニズム解明
株式会社メニコン：効果を示す農作物の探索、商品化推進業務



看板上掲式の様子

犬猫用の関節用サプリメント新発売

メニコンのグループ会社で動物眼科医療を専門に眼科機器やサプリメントを販売する株式会社メニワンは、犬や猫の関節の健康維持を期待したサプリメント「関節やわらぎ酵母」を全国の動物病院にて2018年1月より販売しました。

関節やわらぎ酵母には主成分として酒酵母とラクトフェリンが含まれています。「酒酵母(S-アデノシルメチオニン：SAM-e含有)」に含まれているSAM-eの抗酸化作用や抗炎症作用により、関節の健康維持が期待できます。また、SAM-eは少ない量でも作用が認められます。さらにラクトフェリンは、炎症を鎮める作用や鎮痛作用が確認されています。関節疾患を有する犬猫に30日間、本製品を経口投与した結果、40%~50%の犬猫の症状が改善された臨床結果が出たことから関節の健康維持が期待できると考えています。※1

近年ペットを取り巻く環境が急速に変化しておりペットの高齢化が進んでいます。メニワンでは、動物医療の発展と飼い主様の大切なペットと「少しでも長く一緒に過ごしたい」という気持ちに応えるため、今後も健康をサポートする製品開発に取り組んでいきます。

※1 平成29年度獣医学術中国地区学会抄録を改変



【製品概要】

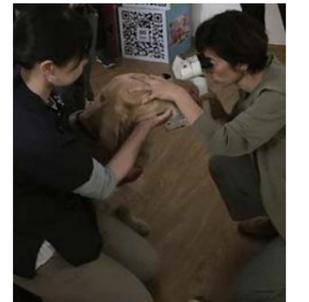
1日に与える量の目安：体重10kg 毎に1包を目安にフードにかけて与えます。
栄養成分(1包中)：ラクトフェリン50mg、S-アデノシルメチオニン40mg
内容量：1包1000mg メーカー希望小売価格：3,000円(税別)

大連で盲導犬の眼科検診に協力

株式会社メニワンは、国際盲導犬の日※1（毎年4月最終水曜日・今年は2017年4月26日）に、大連医科大学内にある中国唯一の中国盲導犬大連訓練センターにて眼科検診の協力をさせていただきました。当日は、日本およびアジア獣医眼科専門医である小林由佳子先生（ありす動物クリニック・神奈川県）とメニワンの代表取締役社長・本田朋章が関係者が参加し、眼科機器の貸し出しを行うなど盲導犬としての活躍や繁殖犬としての役割に適

するか否か等の検診を実施しました。中国盲導犬大連訓練センターで眼科検診が行われるのは今回が初めてで、同センターは中国唯一の訓練センターとして2005年に盲導犬普及のために設立され、これまでに約100頭の盲導犬が活躍しています。この模様は、中国国内メディアからも多数取材があり、中国全土へ情報が配信され、現地での注目の高さがうかがえました。

今後も盲導犬事業発展のために国内外問わず積極的に活動していきます。



※1 国際盲導犬連盟は、本部をイギリスとして約30か国におよぶ90以上の盲導犬育成団体が加盟する国際的な組織。世界各国の盲導犬育成事業の発展と理解をサポートすることを使命として活動しています。この国際盲導犬連盟の前身である国際盲導犬学校連盟が1984年4月に設立されたことを記念して、毎年4月最終水曜日は「国際盲導犬の日」と制定され、この日には世界各地で盲導犬事業の活動を広く一般に認識してもらうため、様々なイベントや催しが企画されています。

佐渡市と新潟県にトキ保護募金

メニコンは稲わら分解促進材「アグリ革命」シリーズの売上げの一部を寄付するため、2017年8月に佐渡市役所を訪問し「佐渡市トキ保護募金」に20万円、また新潟県庁を訪問し、「新潟県トキ保護募金」に30万円を寄付しました。

佐渡市では無農薬の米作りによりトキが息しやすい環境づくりが進んでいます。環境省は同年7月、新潟県佐渡市でトキ77羽の巣立ちを確認し、前年の39羽から大幅に増え、2008年の放鳥開始以降で最多となったと発表しました。佐渡市で生息する野生のトキの総数は282羽前後と推定されています。

メニコンは、2011年より新潟県下の「アグリ革命」の売上の一部をトキ保護募金として寄付させていただき、トキの自然環境の保護および保全活動に役立てられています。

メニコンは環境に優しい商品開発により、トキが自然界で共存できる環境づくりを支援しています。



地域社会の一員として「視る」ことの喜びを分かち合い、感動や夢を共有する活動として、芸術や文化、スポーツ、福祉を通じて、交流の輪を結んで広がっていきます。

23回目を迎えたメニコンカップ2017

メニコンカップは中学生世代のクラブユース選手のオールスター戦で、この世代のサッカーの試合としては日本一の集客数を誇り、近年は1万人規模の観客を集めています。これまでのメニコンカップ出場選手からは、国内外のプロチームで140名を超えるプロ選手が活躍するなど、まさにプロ選手への登竜門といえる大会になっています。23回目を迎えたメニコンカップ2017 日本クラブユースサッカー東西対抗戦(U-15)は、9月10日に名古屋パロマ瑞穂ラグビー場で開催されました。



大会当日は、特別ゲストの前園真聖氏によるジュニアサッカースクールやボールトス、ニコニコ生放送での解説が行われ、会場が大きな歓声に包まれました。ハーフタイムには、地元愛知県の愛知東邦大学吹奏楽団・東邦高等学校吹奏楽部マーチングバンドによるマーチング演奏が行われ、数々の大会で表彰されている迫力のあるマーチング演奏に会場全体が盛り上がりました。公式発表による来場者数は8,397名、大会の様子はニコニコ生放送、YouTube Live、Twitterを使いインターネットで全国に生中継され、247,073名(大会終了時点での視聴者数)がネット上で観戦しました。試合は5対1でALL WESTがALL EASTに勝利。最優秀選手には、WEST15番のMF 小川雄一郎選手(清水エスパルスジュニアユース)、敢闘賞にはEAST10番のMF 谷口大晟選手(大宮アルディージャジュニアユース)、WEST13番のFW 唐山翔自選手(ガンバ大阪ジュニアユース)が選出されました。

メニコンは、「視ることの素晴らしさ」をお伝えするとともに、次世代を担う若手サッカー選手の応援はもちろん、今後も本大会への特別協賛を通じて少年・少女たちの「夢」を応援し続けていきます。

なお、東日本大震災で被災した子供たちに夢と希望をお届けすることを目的に、募金活動も行われ、募金総額36,250円が、グラウンドの復旧・維持管理に必要な「芝生の種」にして、福島県相馬市の光陽サッカー場に送られます。

※グラウンドの選定にあたっては、公益財団法人日本サッカー協会のご協力をいただきました。



メニコンスーパーコンサート2017

メニコンは視ることの素晴らしさを多くの方にお届けするために、ホールの臨場感や指揮者の躍動感などを生で感じ、目で見えて楽しんでいただけるよう、毎年メニコンスーパーコンサートを開催しています。

2017年は福岡にて、NHK連続テレビ小説「ひよっこ」の音楽を担当された宮川彬良さんによる、「メニコンスーパーコンサート2017 宮川彬良&アンサンブル・ベガ特別演奏会」を開催しました。

公演には、コンタクトレンズを使用いただいているユーザーを中心に500名様をご招待し、歌劇「あしたの瞳〜もうひとつの未来」スペシャルダイジェストとして、宮川彬良さんの音楽家としてのお仕事の秘話や、ピアノの演奏をイントロダクションとし、宮川さんが初めて手がけたオペラ「あしたの瞳」から十数曲をお届けしました。

※「あしたの瞳」は2013年に東京、2015年に名古屋で上演した宮川彬良さん初の書き下ろしオペラです。コンタクトレンズを生み出した男の半生を紐解きながら「みることはなにか?」という問いかけを通じて、人間の心の根源へ迫り、人生を豊かに生きることのエッセンスを伝えています。



目の愛護デー 「スマートタッチダンスコンテスト」

メニコンは、目に携わる企業として、見ることの素晴らしさを多くの方に届け、また、その喜びを分かち合いたいという願いから様々な形で芸術や文化支援を行ってきました。その一環である目の愛護デー企画として、2017年9月10日のコンタクトレンズの日から12月31日まで、コンタクトレンズを装着して見える喜びを表現した「スマートタッチダンスコンテスト」を開催しました。

スマートタッチダンスは、「SMART TOUCH」の特徴である清潔、簡単に加えて、コンタクトレンズを装着することによって得られる、見える喜びや楽しみなどをダンスで表現したものです。また、ダンスパフォーマンスにとっても、アイコンタクトはコミュニケーション手段の1つとして使われており、それには正しい視力が必要というメッセージを伝え、ダンスを志す未来を担う子どもたちの夢を応援、サポートしようという趣旨で企画されました。

振付はエイベックス・アーティストアカデミー講師のTACT(タクト)氏が担当し、楽曲「スマートタッチソング」の歌詞を表現した、親しみやすく、かつダンスを志す若い世代にとっては踊りごたえのある内容になっています。

期間中、58チーム59作品におよぶ多数応募があり、審査はTACT氏を中心にダンス専門家、メニコングループ内審査員にて行いました。スマートタッチソングの歌詞を理解した内容、振付に対する再現性、リズム感、見栄え、オリジナリティなどの視点から総合的に評価し、入賞作品を決定しました。また、特に感動を与えてくれた3チームに「特別賞」を追加するなど、大いに盛り上がりました。

さらに本コンテストは、振付を完全マスターしての応募だけでなく、楽曲「スマートタッチソング」を用いてアレンジを加えたオリジナルダンスでの応募も可能となっています。賞金は総額100万円で、一般公募から選ばれる最優秀賞、優秀賞のほか、23年間メニコンがメニコンカップを通じてサポートしている一般財団法人日本クラブユースサッカー連盟(以下、JCY)のサッカーチームにも日本クラブユースサッカー連盟の部として特別賞が設けられました。



なお、「最優秀賞」「優秀賞」「努力賞」「クーモア賞」「スマート賞」「JCY賞」「特別賞」は、メニコンの公式Twitter、メニコン公式YouTubeチャンネル、全国メニコンショップ内のサイネージ、メニコンアネックス・ギャラリーMenioなどで上映させていただきました。

◆入賞作品はこちら <http://www.menicon.co.jp/st/dance/result/>



5周年を迎えたメニコンANNEX

2012年のオープン当初より、メニコンの企業文化を核に、新しい文化の創造と発信の場として、多くの皆様にご利用いただいているメニコンANNEXは2017年6月29日に5周年を迎え、記念イベントをギャラリーMenioとHITOMIホールで開催いたしました。また、2018年2月1日よりHITOMIホールは会員制度を導入しました。メニコンからさまざまな情報を発信させていただくと共に、さらなるホールの品質向上に努めます。

〈ギャラリーMenio〉

近藤美和イラストレーション展

近藤美和さんは、ギャラリーMenioの前身ともいえるメニコンが開催していた「Menio展2002」で優秀賞を受賞された方で、現在名古屋を中心に、出版物や広告など様々なシーンでご活躍中のイラストレーターです。



〈HITOMIホール〉

青島広志「物語と音楽」コンサート&イラスト展

イラストレーター近藤美和さんが青島広志さんの装丁を手掛けたことから実現しました。コンサートとイラスト展の同時開催という、ホールとギャラリーを備えたメニコンANNEXならではの企画となりました。



